

地域おこし協力隊配置要望書

水沢地区では、以下の理由に基づき、令和5年度において「地域おこし協力隊」（以下、隊員）の配置を要望します。また、隊員の受入体制に十分な整備をしていることを併せて申し添えます。

地域 の 目 標	<p>【地域の現状】 2023年6月現在 入間地区 世帯数：36世帯 （天池10世帯・漆島3世帯、池沢11世帯、野中4世帯、鍬柄沢8世帯）</p> <p>入間地区の各集落は高齢化が進み、新しい取り組みを行うにも住民のみでは活動を起こすことが困難になっており、通院、買い物、冬季間の主要道路までの道付など日常生活に不便を感じる住民が増えつつある地域です。</p> <p>【課題1】 安心して暮らせる地域づくり</p> <p>これからは集落に寄り添ってくれる人材とともに、将来に残せるもの、残せないもの（行事、記録、田畑など）の洗い出しと整理の仕方について考え、将来のあり方をより具体的に考えて行動していく必要があります。特に高齢化・過疎化が進んでいる入間地区への対策をモデル化し、今後5年、10年後の水沢全体の対策として地域住民が安心して暮らし続けられる仕組みづくりが必要です。</p> <p>【課題2】 地域資源の活用</p> <p>入間地区は、廃校となった「野中小学校」を中心に栄えてきましたが、現在は一番住人が少ないのが野中であり限界集落となっています。野中集会所は小学校の一部だった建物を保育園として利用してきました。子どもたちが通っていた野中は、入間地区の思い出の場所。山間は山菜の宝庫、子どもたちが遊んだ散策コース、昔ながらの田園風景など豊かな里山が残されています。他の集落にある魚沼スカイライン、林道、ゴルフ場、入間川などの資源も合わせて域活性化につなげることができます。</p> <p>【課題3】 関係人口の増加・観光促進</p> <p>水沢地区では、大地の芸術祭（3年に1度のアートの祭典）を主軸とした観光による地域づくりに力を入れることを検討しています。すでに常設の展示がある集落（土市・水沢）はもちろん、作品を誘致しようとする集落とも一体となり、盛り上げようとしている地域です。その他、イベントなどの行事に合わせて観光促進をサポートしながら、芸術祭だけではなく、まだ見つかっていない観光資源（人、モノ、環境など）を住民とともに発見し、地域の内外への発信を通して水沢の関係人口が増えていく状況を目指しています。</p> <p>以上、これらの活動のための人材として、協力隊の配置を希望します。</p>
活 動 の 仕 方	<p>【全隊員共通の活動】</p> <p>◆地区との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道普請のほか、各種集落行事に参加すること。 ・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること。 ・地区で何か困りごとがあれば親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること。 ・課題・問題については、世話人、各集落の総代などに相談するなどして、解決策を考えていくこと。

【水沢地区の活動支援】			
目標（地区の将来像）		今、協力隊がやるべきこと	活動比率
1	最後まで安心して暮らしていける 地域の仕組みづくり	今現在困っている問題と5年後、10年後に困る問題（廃村、交通、人口減少、防災、共有地等）の共通認識と支援方法の検討。 ＜前任隊員活動例＞ ➡集落交流会「たっしゃ会」の運営支援を月1回程度（4月～11月）、ふれあい給食（週1回）の配送サポート、集落見回り確認など	30%
2	地域資源の活用	県道76号沿いに広がる入間地区は、積雪量が多い分、自然の恵みも豊富な中山間地。地域資源を活用し、新たな魅力を企画・発掘する。 ＜前任隊員活動例＞ ➡休耕田・畑を利用し、雪国でも育つさるなし(果実)栽培を農業連絡協議会の事務局として支援。令和5年に同会で200本の苗木を植樹し、「水沢さるなしの里」計画をスタート。 ※鋤柄沢の休耕田に自ら植樹	20%
3	関係人口の増加 ・観光促進	水沢では地域振興を振興会・商工会を中心に行っている。それらの機関や他団体と連携を取りながら外から人を呼び、水沢との関係人口を増やすための施策（イベントを含む）を検討・実施する。 ＜前任隊員活動例＞ ➡水沢地区の観光促進のため、グルメ街道や大地の芸術祭を紹介するチラシ制作。また「水沢ふれあい物産館」をイベント開催し、直売だけでなく地域の特産品を製造・販売。※ECサイト開設	50%
<p>【その他の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当集落以外の水沢地区の住民や主要団体とのコミュニケーションを積極的に図ることにより、円滑に業務が遂行できるようになります。（水沢振興会・水沢商工会・各種団体など） 			
理想の隊員像	<input type="checkbox"/> 向いている人柄、必要なスキル <ul style="list-style-type: none"> ・明るく、コミュニケーション能力がある人 ・社会人経験者 ・これまでの職種等のスキルを活かし、地域活動の中に落とし込むことができる人 ・高齢者と話をすることが苦にならない人 ・何ごとにも挑戦することが好きな人 <input type="checkbox"/> メッセージ <p>1年目はまず、雪国の生活に慣れることです。何か新しいことに挑戦したい、田舎で自分らしい生活を見つけたい、そんな人には最適な場所。水沢地区の国道沿いには飲食店が充実していて、保育園、小・中学校が近く、家族で移住をお考えの方にもおすすめです。</p> <p>集落行事や集落交流会「たっしゃ会」などに参加するうちに、だんだんと地域に慣れてきます。自分のやりたいことも見つかることでしょう。仕事に慣れてきたら、空いた時間は副業でスキルアップ&収入アップも可能です。あなたのやる気を応援します。</p>		

隊員年間活動計画

期間		具体的な活動概要
第1期	4月	【集落挨拶回り】世話人・総代を中心に各集落のことを学ぶ（初年度）
	5月	【安心づくり】災害時／個別支援計画の再調査、ふれあい給食支援 交流会・たっしや会支援（総会、体操教室、映画鑑賞会） 集落見回り確認（住民意見のヒアリング）
	6月	【集落行事支援】春普請（雪囲い外し・ゴミ拾い等）、花壇づくり 【地域づくり】学校給食・収穫体験支援（4月・5月） 【観光事業支援】大地の芸術祭の準備（作品誘致等）、つつじ原公園まつり
第2期	7月	【観光事業支援】大地の芸術祭で人気のジミー・リャオ作品を中心に、 芸術祭事業のサポート（7月～9月）
	8月	【安心づくり】交流会・たっしや会支援（あじさい公園、温泉等） 集落見回り確認（困りごと支援）
	9月	【集落行事支援】草刈り、神社・お墓掃除、納涼会、祭サポート 水沢防災の日支援（9/10 頃）敬老の日支援（9/18 頃）
第3期	10月	【観光事業支援】水沢公民館まつり（文化祭）
	11月	【安心づくり】交流会・たっしや会支援（忘年会、防災教室） 集落見回り確認（困りごと支援）、安心事業支援
	12月	【集落行事支援】道普請、雪囲い 【地域づくり】学校給食・収穫体験支援（10月・11月）
第4期	1月	【地域づくり】ちんころ作り、餅つき支援（1月・水沢公民館）
	2月	【集落行事支援】どんと焼き（1月）、補助金申請支援 「集落の記録」作成（各集落でヒアリング：1月～3月）
	3月	【安心づくり】集落見回り確認（困りごと支援）、安心事業支援 協力隊活動報告会（→世話人） 【集落行事支援】道普請、雪囲い

【地域の現状】入間地域



▲たっしゃ会・お花見ランチ、転倒予防教室(野中)



▲道普請(漆島)



▲お墓掃除(天池)



▲音坂から見た野中の風景

▼水沢女性防火クラブによる防災教室(鍬柄沢)



▼集会所掃除、神社雪囲い(池沢)



【地域の現状】 水沢地区



▲地産地消事業／水沢小学校・収穫体験(天池)



▲安心事業／雪の除雪(野中)



▲水沢ふれあい物産館／直売所コーナー、からむし染体験(伊達)



▲チマキ作り(水沢公民館)



▲ちんころ作り(水沢公民館)



▲十日町カントリークラブ

▼人気作品ジミー・リャオ「Kiss & Goodbye」
写真下(土市駅)、右(越後水沢駅)



▲手前「モミガラパーク」と奥「マッドメン」
(鍬柄沢・大沢トンネル前の作品)

